

春の小川通信

だれもが安心して暮らせる地域に。
障がい者の地域での暮らしを支援しています。

2020. 2

NO.34



特定非営利活動法人 春の小川

〒399-0731 塩尻市大門六番町 4-35

電話/FAX 0263-51-6393 E-Mail sarasara@diajanis.or.jp

発行責任者/理事長 小沼芳博

～地域で暮らすということ～

理事長 小沼 芳博

グループホーム事業は、開所以来すでに 16 年目を迎えています。

去年の12月、毎日利用しているめだかの家の風呂用ボイラーが故障し入浴できなくなったため、ある入居者が、通常はヘルパーさん同行で利用している近くの銭湯に一人で行くことができました。その時、銭湯の番台の女性が、いつも二人で来ている入居者が一人にいることに気づき、わざわざ洗い場まで来て面倒を見てくれたとのこと。改めて 16 年間の重みと同時に、地域みなさまにいかに関わらせているか実感したところです。

やわらかでうまかったよ



一方こぶなの家は、2018 年 4 月に住み慣れた大門七番町から大門桔梗町に引っ越し、2 年目を迎えています。七番町同様、一斉清掃をはじめ、敬老会に誘っていただいたりと、近隣の方々との交流も少しずつ広まってきました。毎年 12 月に開催される餅つき大会には、一か月も前から連絡をいただき、直前には区長さんからもお誘いがあり、当日は、おいしいお餅を食べながら、楽しいひとときを過ごすことができました。また、入居

者が牛乳パックで椅子を作っていることを知った近隣の方から、使用済みの牛乳パックを届けていただいたり、野菜などを持ってきていただいたこともありました。

つくづく思うのは、良い風が吹いてくるのを期待して待つのではなく、風がなくともみずから動くことにより顔に風を感じ、季節の匂いを感じ、さらに行動するという良い循環が大切だということです。今年は作業所の開設も控えておりますが、このグループホームの経験を活かし、わずかなことでも行動することを大切に、気が付けば地域の風景に自然に溶け込んでいる存在になりたいと思っております。

大門六番町・七区のみなさんと

毎年、暮れが近づいてくるとめだかの家のみなさんが楽しみにしているのは“六番町のふるさとフェスティバル”です。今年は、12/7(日)の夜、大門地区センターで開かれました。六幸太鼓のみなさんと演奏をしたり、大正琴グループの演奏に合わせて歌ったりと、とても楽しく過ごしました。

また、グルーホームの夕食とは違ったご馳走がたくさんあり、おいしくいただきました。

きれいな。



煙があたれば
食べてもいいだよ。

あついな。

1/13(月)は、六番町の三九郎に出かけました。地区のみなさんにお声がけをいただいたり、一緒にお汁粉をいただきました。まゆ玉を炎であぶり、「元気な 1 年でありますように」と願いながら食べました。

